

“自然葬”って、なあに？

自然葬を考える市民の集い

国際日本文化研究センター名誉教授

2009. 5. 2 土

山折哲雄さん特別講演会

三無主義と 一握りの散骨

墓はつくらない。葬式はしない。

遺灰は自然に還して残さない。

人生80年の時代。老いと病がゆっくりとやってくる
緩慢な時間。死に支度のときを、いかに生きるか。



やまおり てつお 1931年生まれ。東北大学卒業。駒澤大学助教授。国立歴史民俗博物館教授などを歴任。『愛欲の精神史』（小学館）で2002年和辻哲郎文化賞受賞。主著に『死の民俗学』『日本人と浄土』『親鸞を読む』ほか。

* 山折哲雄さんは、幅広い見識を持つ日本の代表的な宗教学者です。花巻市のご出身ということもあり、これまでも東北支部とは浅からぬ縁がありました。1999年には「成熟のとき：生老病死を考える」、2002年には「今を生きる」と題して講演していただいております。その思想が一段と研ぎ澄まされた今回のテーマは「三無主義と一握りの散骨」。ご期待ください。

●2009年 5月2日（土）

13時30分（開場は13時）～16時30分

●仙台市シルバーセンター

1階 交流ホール

青葉区花京院1-3-2 ☎022-215-3191

●参加費 1,000円（当日 会場にて受け）

●プログラム

1. 講演「葬送基本法の制定にむけて」
葬送の自由をすすめる会 会長 安田睦彦氏
2. 特別講演「三無主義と一握りの散骨」
葬送の自由をすすめる会 顧問 山折哲雄氏
3. 質疑応答（自然葬への質問をどうぞ）

●連絡先／阿部 ☎&FAX 022-285-5045

主催／NPO法人 葬送の自由をすすめる会 東北支部